

車両の安全対策と効率化への 取り組みのご紹介

令和2年8月21日

株式会社東北ターボ工業



株式会社 東北ターボ工業

www.t-turbo.co.jp

商号	株式会社東北ターボ工業
設立	昭和55年 8月 4日
資本金	9,800万円
本社所在地	盛岡市下太田田中1-2
代表取締役	生内 一晶
事業内容	産業廃棄物処理、下水道管路管理、超高圧水工事、解体工事、アスベスト・ダイオキシン対策工事、空調ダクト清掃、防水工事、電気工事、土木工事
関連会社	株式会社 ターボ開発 有限会社 農業生産法人 グリーンインデックス 株式会社 東北ターボ商事 創成商事 株式会社 有限会社北日本冷暖房サービス

■ 車両保有台数 全60台 (2020年8月現在)

- ・乗用車 34台
- ・トラック 8台
- ・特殊作業車 26台

(吸引車、アームロール車、収集運搬車 等)



■ 車両事故件数（すべて物損事故）

- ・2017年度 11件
- ・2018年度 6件
- ・2019年度 18件

■ 主な車両事故の要因

- ・車両をバック操作している最中の事故
→誘導を行った場合にも事故が発生
- ・作業前の周囲の安全確認不足による事故
→作業車両を建物の一部等へぶつけてしまう事故などが発生
- ・運転中の注意不足による事故
→車両同士の事故、凍結路面での事故など

安全意識をしっかり持つことで防げる事故が減らない状況が続いておりました



■全車両にクラウド型ドライブレコーダーの導入（2017年）

- ・クラリオン社製SAFE-DRシステムを導入
- ・クラウドシステムで常時、ドライブレコーダーのデータを確認が可能に
- ・ドライバーの安全意識の向上、データ分析による的確な運転指導が可能に
- ・お客様先への到着予定時間の確認など、効率的な運行管理が可能に



■架装車すべてにバックカメラの取付（2018年）

- ・車両事故において特に多かった、バック時の事故防止に活用

■全車両にドラレコ用室内カメラの取付（2020年）

- ・"見られている"事を意識することで安全運転の意識向上
- ・運転中の携帯電話の操作や危険運転を防ぐ、コンプライアンス意識の向上



最新設備の導入により、事故防止と安全意識の向上を図ってきました



■ 吸引車の過積載防止システムの導入（2020年）

- ・ 過積載モニタリングシステム"トラックウェイ"の導入
- ・ 積載量がリアルタイムでわかるため、収集作業時に都度の移動が不要に
- ・ 法令/コンプライアンスの順守、ドライバーの安全性確保





■ 架装車全てに安全運転支援システムの導入（2020年8月以降）

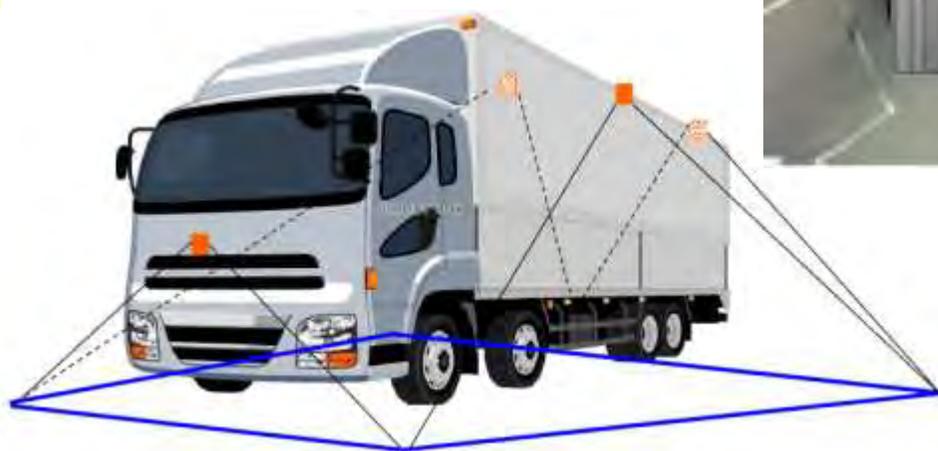
- ・クラリオン社製 全周囲俯瞰カメラシステム"サラウンドアイ"の導入
- ・複数の車載カメラから映し出した画像を俯瞰画像として、車内のモニターへ表示。
ドライバーにとって死角となってしまう部分を映し出し、安全運転のサポート。

・直感的な状況把握

・車両安全確認

・事故軽減

・安全指導



東北ターボ工業は、最新技術を取り入れながら、安全対策と効率化を図り、地域と業界の発展への貢献に、全力で取り組んでまいります。



ご清聴ありがとうございました。